

平成 28(2016)年度前期「論理学」(水 1 時限)追試験(レポート)問題

下記の問題 1～5 に解答し、レポートとして提出(下記へ郵送)してください。

用紙は A4 とし、2 枚以上にわたる場合は、そのすべてに、問題番号、学部・学科・学生番号・氏名を明記すること。

問題 1 p を 1, q を 1, r を 0 として、次の複合命題の真理値を求めなさい。

$$(1) p \vee (\sim q \supset \sim p) \rightarrow$$

$$(2) (q \equiv \sim p) \equiv (p \supset r) \rightarrow$$

問題 2 次の推論を記号化した上で、妥当であるか否かを真理表の方法によって判定しなさい。

妥当でない場合については、そのときの要素命題の真理値を明記すること。

健二は高校生ならば、たばこをすわない。

健二は高校生でなければ、大学生である。

∴ 健二はたばこをすえば、大学生である。

問題 3 (1)ポーランド系記号で記述された次の論理式を 5 つの論理結合子(\sim , \wedge , \vee , \supset , \equiv)

で表現し、(2)それを真理値分析の方法によって、恒真・恒偽・偶然的かを判定しなさい。

$$CNpCpq$$

問題 4 次の命題を述語論理によって記号化しなさい(与えられた記号を用いること)。

1) ある学生はラテン語ができる。 F : \sim は学生である。 G : \sim はラテン語ができる。

2) どんな本もためになる、というわけではない。 F : \sim は本である。 G : \sim はためになる。

問題 5 論理学と自分の専門分野(経済情報・日本文学・美術)との関係について、自分の考え

を自由に述べなさい。(400 字程度)

提出先：郵便番号 739-8522 東広島市鏡山 1-2-3

広島大学大学院文学研究科／応用哲学・古典学講座 赤井清晃

提出期限：2016年8月10日(水) 必着

参照 URL

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/akyah59/>

http://home.hiroshima-u.ac.jp/akyah59/2016_onomichi_logic.shtml

不明の点があれば、下記にメールを下さい。

メール akyah59@hiroshima-u.ac.jp